

年度
H 25

重点プラン名
⑦ 再生可能エネルギー産業利活用推進プラン

# 重点プラン実施計画書兼管理票

主務課	産業政策課	主に関係する課	森林整備課	観光振興課			
-----	-------	---------	-------	-------	--	--	--

重点プランの方針と目標	重点プランによりもたらされる効果
市民の再生可能エネルギーへの関心を高め、利用可能なエネルギーの普及促進及び地産地消を図るとともに、次世代エネルギー技術の研究や産業利活用について支援を検討する。	再生可能エネルギーの導入は、経済の成長要因の一つ捉えられていることから、産業分野における利活用を支援し、地域産業の振興に結びつけることができる。

## プランの実現に向けた個別施策

施策名(担当課)	事業概要	前年度までの実施状況	今年度実施予定の主な内容	主たる関係予算の状況		
① 森のエネルギー推進事業 (森林整備課)	○木質ペレットを使用する市有施設の拡大を図る。 ○市民・事業者のペレットストーブ・ペレットボイラー購入費補助を行い、木質ペレット使用量増大を図る。 ○林地残材等を薪ストーブ用燃料、木質バイオマス発電燃料として使用するための情報を提供し、利用拡大を図る。	・ペレットストーブ購入に対する補助金の交付 10万円×10台	・ペレットストーブ・ペレットボイラー購入に対する補助金の交付 10万円×12台	事業名	森のエネルギー推進事業	
				今年度予算額	1,200	千円
				前年度決算額	1,000	千円
② (仮) エムウェーブ次世代エネルギーパーク整備事業 (観光振興課)	○「自然との共存」を理念に掲げた長野五輪開催都市として、長野市のエネルギー利用の将来像を模索しながら、長野市版エネルギーパークのあり方について検討を進める。	H24.3月議会において整備計画の見直しを求める請願が提出され、庁内で検討した結果、整備計画を見直すことになり、H24・9月議会において請願が採択された。エムウェーブへの設置を白紙に戻し、所轄である環境部を中心に、次世代エネルギーパークを総合的に構築していくことに決定よって重点プラン実施計画から削除する。	—	事業名	エムウェーブ次世代エネルギーパーク整備事業	
				今年度予算額	—	千円
				前年度決算額	0	千円
③ 再生可能エネルギー研究等開発支援事業 (産業政策課)	○バイオマスなどの再生可能エネルギー生産拡大のため、企業が行う研究開発に対し、学術研究機関との連携による技術支援の検討する。 ○エネルギー関連の最先端技術開発の動向を注視し、産学連携で産業化を検討する。	麹化菌体を用いた廃食油のバイオディーゼル燃料化技術の実用化の研究開発に対する補助金の交付(2か年度事業；24年度-補助事業採択、25年度-実績報告・補助金交付)	・再生可能エネルギー研究等開発に対する補助	事業名	再生可能エネルギー研究開発事業	
				今年度予算額	4,000	千円
				前年度決算額	2,000	千円

重点プランの指標項目	単位	23末現在	24実績	達成率	25実績	達成率	26実績	達成率	27実績	達成率	28実績	達成率	28末目標
① ペレットストーブ導入数(年間)	台	10	10	66.7%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	15
		1	0	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	3
② 次世代エネルギーパーク延べ入場者数(年間)	人		—			0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	100,000
③ 再生可能エネルギー研究件数(累計)	件	1	1	33.3%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	3

年度	重点プラン名	重点プラン実施計画書兼管理票
H 25	① 観光誘客推進プラン	

主務課	観光振興課	主に関係する課				
-----	-------	---------	--	--	--	--

重点プランの方針と目標	重点プランによりもたらされる効果
四季折々のコンテンツを組み込んだ様々なテーマ別キャンペーンの展開 観光入込客数や市内宿泊客数を増やすための、観光客の満足度を高める「長野ファン」の増加及びブランド化された地域と善光寺を結びつけ「ゆっくり」	四季と観光資源を結びつけること及び四季を意識した情報発信により、季節ごとに来訪してもらえようになり、リピーターの増加につながる 観光客に本庁をより深く知っていただくことで長野ファンが増え、テーマ型観光により観光客が市内観光地を複数巡ることゆっくりした観光（スロートゥーリズム）

プランの実現に向けた個別施策

施策名(担当課)	事業概要	前年度までの実施状況	今年度実施予定の主な内容	主たる関係予算の状況	
① 新1200万人観光交流推進事業 (観光振興課)	地域に存在する様々な観光資源と善光寺を結びつけ、「観光入込客数」や「市内宿泊客数」を増やし、滞在時間を延ばすことで「観光消費額額」を増加させ、地域経済の活性化を図るために、毎年度テーマを定めて全市横断的なキャンペーンを実施し、集客力の向上とリピーターの増加を目指す。	ながの「四季の彩り」キャンペーンを実施。 ・「ながのファンくらぶ」会員数 1,157名 (H 25.3.31現在) ・「四季の彩り」ポイントラリー、おやきスタンラリーの実施 ・夏野菜収穫体験、西山大豆を使用した鍋料理の提供などの季節に合わせた企画、イベントの実施	今年度は「体験！長野道場」をキャンペーンテーマとして展開していく。 ・一過性のもではなく、次の訪問につながる・宿泊につながるなど継続的に参加できる体験プログラムを開発し、何度も訪れたいような仕組みを作る ・「何かを体験したい」、「普通とは違った観	事業名	新1200万人観光交流推進事業補助金
				今年度予算額	39,000 千円
				前年度決算額	39,000 千円

重点プランの指標項目	単位	23末現在	24実績	達成率	25実績	達成率	26実績	達成率	27実績	達成率	28実績	達成率	28末目標
① 観光入込客数(年間)	万人	1,003	1,007	83.9%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	1,200
② 市内宿泊客数(年間)	万人	185	220	100.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	220
③ 観光消費額(年間)	億円	409	431	88.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	490